

新型コロナウイルス感染症の予防について（お願い）（令和2年12月14日時点）

山形市教育委員会

日頃より本市の教育活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、新型コロナウイルス感染症は、山形県内においても感染拡大しております。また、受診についても一般の医療機関による検査体制が構築されています。

つきましては、5月14日付に発出している通知内容を一部見直しましたので、保護者の皆さまにも、お子さま及びご家族の健康状態の把握並びに感染症予防対策に対し、再度ご確認ください、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

また、感染者やその家族等への差別や偏見、誹謗中傷、誣索などあってはならないことです。感染を責める雰囲気が広がると、受診の遅れや感染を隠すなどの行動にもつながりかねず、結局は地域での感染の拡大にもつながり得ます。保護者や地域の皆様の冷静な対応をお願いいたします。

1 ご家庭での感染症予防対策について

- 毎朝、ご家庭でお子さま及びご家族の健康状態の確認と体温の測定をお願いします。
- 学校ではマスク着用を原則としますので、登下校時もマスク着用をお願いします。
- ご家庭においても、国が提案している「新しい生活様式」を参考に感染症対策をお願いします。
また、換気や空気の乾燥にも十分配慮してください。

2 お子さまの出席停止の取扱い等について

次のような場合、出席停止（欠席と扱わない）として対応いたしますので、すぐに学校に症状や理由等も含め連絡してください。

○本人に風邪のような症状（発熱・のどの痛み・咳など）がある場合

⇒登校をひかえ、必ず受診前にかかりつけ医に電話で相談し、受診してください。

※土日に発熱等の症状がみられた場合は、受診相談センター（0120-88-0006 24時間対応）に相談してください。

⇒受診していない場合には、症状がなくなり2日を経過するまで自宅療養してください。

⇒かかりつけ医より上気道炎など感染症以外の診断を受けた場合には、療養期間など、かかりつけ医の指示に従ってください。

○お子さま及び同居家族等に感染者、濃厚接触者、PCR検査の受検対象者が発生した場合

⇒すぐに学校へ連絡をお願いします。その際、お子さまの症状や具体的な状況をお知らせください。

⇒学校が留守番電話の場合は、学校の緊急連絡先に連絡してください。

⇒新型コロナウイルス感染症と診断された場合には、保健所からの健康状態や行動履歴等の聴き取り調査などがありますので、ご協力をお願いいたします。

○発熱、頭痛、咳など感染が疑われる症状がある方が同居家族等にいるなど心配な状況がある場合

⇒【県のレベル4または5】

同居家族等の状況が問題ないと判明するまでお子さんの登校をひかえてください。

出席停止（欠席と扱わない）として対応しますので、学校に連絡して下さい。

⇒【県のレベル1から3】

大事をとりお子さんを自宅待機させる場合にも出席停止（欠席と扱わない）とすることができま
すので、学校にご相談ください。

※県のレベルとは、「山形県における新型コロナ対応の目安（注意・警戒レベル）」になります。

3 臨時休業に関する考え方について

山形市においては、児童生徒の安全を第一に考え、保健所と相談の上、新型コロナウイルス感染症の疑いがあり、学校内での感染状況の把握が必要な場合には臨時休業の措置を行います。また感染拡大の可能性が低いと判断した段階で、臨時休業を解除します。

新型ウイルス感染症を正しく理解しましょう！！

◆みなさんがよく知っているインフルエンザと比較してみましょう◆

項目	インフルエンザの場合	新型コロナウイルスの場合
感染してから症状があらわれるまでの期間	1～2日	1～14日（平均5、6日）
他の人に感染させる可能性がある期間	症状があらわれた直後から	症状があらわれる2日前から
	5～10日（多くは5～6日）	7～10日以内
※感染していても、人にうつす可能性が出てくるのは、症状が出た日の前後となります。		
無症状で感染させる可能性	無症状ではウイルス量が少なく、感染力が低い傾向がある	無症状でもウイルス量が多く、感染力が高い傾向がある
おもな症状	突然の高熱・せき・頭痛・筋肉痛及び関節痛・強いだるさ・鼻水など	発熱・せき・のどの痛み・鼻水・だるい味がない・においがしない・頭痛など
※症状だけではコロナかインフルエンザかわかりません。必ずお医者さんにいきましょう。		

もし、自分が感染した場合、他の人から感染したことをせめられたり、犯人探しをするような行為、SNSに情報を拡散するような行為をされたらどんな気持ちになるでしょうか。
ひとりひとりが思いやりの気持ちを持ち、冷静な行動をしてほしいと思います。



新型コロナウイルスは、他の感染症と違い、症状が出る前の無症状の時期から周囲にうつしてしまう可能性があります。
気づかないうちに、だれもが感染する可能性があります、他の人にうつす可能性もあります。

◆感染を広げないためには、濃厚接触者にならない、濃厚接触者をつくらないことです◆

濃厚接触者（感染者と接触し、感染している可能性がある人）の目安として・・・

- 期間：・感染者に症状が出始めた日の2日前から入院するまでに接触
・無症状の感染者の場合はPCR検査をした日の2日前から入院するまでに接触
- 条件：① マスクをしないで ② 1M以内の距離で
③ 合計15分以上の会話などをした人（①②③すべてあてはまる人）

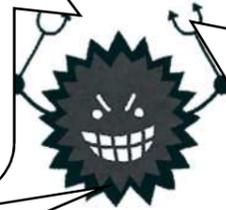
幅広い検査の対象もこの期間に接触された可能性のある方が対象

感染者と同居している家族や感染者と会食した人などが条件すべてにあてはまることが多いようです。

家族からの感染を防ぐためポイントについては、「家庭内でご注意いただきたいこと～8つのポイント～」で検索してください。
①部屋を分ける ②お世話は限られた人のみ ③全員マスクをつける
④手洗いをする ⑤換気をする ⑥共有部分の消毒をする
⑦衣服の洗濯をする ⑧ごみは密閉してする

◆新型コロナウイルスの特徴◆

空気が乾燥する冬場は、ウイルスにとって動きやすい時期です。ウイルスをふくんだ飛沫は、乾燥すると飛沫の水分が蒸発し軽くなるため、ウイルスがより遠くまで飛ぶようになるとともに、空気中にたどよう時間も長くなります。



飛沫（ひまつ）感染
感染者のくしゃみ、会話などと一緒に出されたウイルスを他の人の口や鼻などから吸いこんで感染する。

接触（せつしょく）感染
感染者が鼻をかんだ手で触れたものや、会話をしてひまつが飛んだものを他の人がさわったり、口や鼻にふれると感染する。

ウイルスは健康な皮ふからは感染しません。

ウイルスは粘膜でできている部分（目、口、鼻）から体の中に入り、増えていきます。

◆感染しない、感染させないためのポイント◆

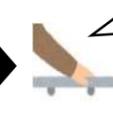
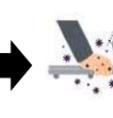
- 【感染していない人】ウイルスの体内へ入るおもな入口（口・鼻）からウイルスが入るのをブロックする。
- 【感染している人】体内から出されるウイルスのおもな出口（口・鼻）からのウイルス拡散をブロックする。

1. マスクを正しくつける

※正しくマスクの着用することにより、感染者と接する人のウイルス吸入量が減少することがわかっています。
⇒布マスクよりもサージカルマスクの方が、感染予防の効果があると考えられます。



ウイルスの入口・出口をブロック



ウイルスが空気中や物品に飛ぶのをブロック



【マスクの正しいつけ方】

- 鼻・口・あごがおおわれるサイズのマスクを着用。
 - マスクと皮ふの間のすき間をなくす。
- 【注意すること】
- 会話するときは、おたがいにマスクを着用。
 - 食事の時は、会話をしない。

マスクの正しい着用。口だし、鼻だし、あごだしはダメ。マウスシールドやフェイスシールドのみ着用はマスクの代わりにはならない。ワイヤーをしめて、すき間を最小限に！！
※口元の動きを見せるために教師が使用する場合は、身体的距離をとりながら使います。

2. 手洗い・手指消毒、みんながふれる部分の消毒

※ハンドソープと流水でしっかり手洗いを行いましょう。手洗いができない場合には、70～80%のアルコールで消毒しましょう。特に飲むときや食するときなど、鼻や口に手を近づけるときには必ず手を洗いましょう。

3. すべての窓・ドアを全開し換気

※常時換気が望ましいが、気候上むずかしい場合には、部屋のすべての窓とドアを30分毎5分間全開または、1時間ごと10分間全開にしましょう。食事の前は必ず換気をしましょう。

【参考資料】一般社団法人日本感染症学会提言「今冬のインフルエンザとCOVID-19に備えて」
「新型コロナウイルス感染症の“いま”についての10の知識」
「職場や学校に新型コロナウイルス感染者がいても感染しないために」